

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です
- ・双葉町の双葉町体育館の解体工事に着手しました (12/6)

○ 中間貯蔵施設関連

- ・26 市町村から平成 30 年度の輸送を実施中です

< 除去土壌等の輸送の進捗状況 (12/11 時点) >

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量※	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 109.2 万 m ³	約 60.7%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量※	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 187.8 万 m ³	約 13.4%

※ 今回から、輸送の進捗状況で示す数量を搬出済量（仮置場等で保管されている数量）に変更しています。

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です
- ・福島環境再生に関するトピックを発信する「環境再生レポート」を更新しました (12/7、13)

○ その他のイベント等関連

- ・東京国際フォーラム（東京都千代田区）において開催された「ふくしま大交流フェスタ 2018 -ALL FUKUSHIMA FESTA-」に出展しました (12/9)

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋等の解体・除染を実施しています。

○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯館村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です。
- ・双葉町の双葉町体育館の解体工事に着手しました。建物部分の解体は2019年3月頃に完了する予定です(12/6)。
詳細は別添1、3、4のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3月に8県100市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)
別添1のとおり
- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添5のとおり

II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

(1) 最近の動き

- 26市町村から平成30年度の輸送を実施中です。
- 除去土壌等の輸送の進捗状況(12/11時点)

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約180万m ³	約109.2万m ³	約60.7%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約1,400万m ³	約187.8万m ³	約13.4%

(2) 平成 30 年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

(12月11日までの搬出実績)

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬出済量(m ³)	累積 搬出済量 (m ³)
浜通り	いわき市	22,200	7,800	21,756	44,178
	相馬市	16,100	-	0	16,946
	南相馬市	113,200	-	57,715	87,440
	広野町	31,900	-	14,333	25,374
	檜葉町	72,400	-	56,359	96,081
	富岡町	162,400	-	90,045	133,494
	川内村	42,400	-	43,726	58,345
	大熊町	147,000	-	74,293	127,265
	双葉町	132,700	-	40,359	87,307
	浪江町	130,300	-	46,489	83,152
	葛尾村	71,400	-	56,696	73,225
	飯舘村	151,600	-	121,908	150,205
中通り	福島市	78,700	20,000	40,622	65,536
	郡山市	67,200	20,900	88,720	152,088
	白河市	33,800	100	31,368	55,929
	須賀川市	22,000	3,600	19,197	34,122
	二本松市	50,000	-	36,637	80,418
	田村市	47,800	300	37,447	66,522
	伊達市	62,600	6,000	41,686	62,628
	本宮市	20,600	-	16,423	39,708
	桑折町	19,200	-	5,159	21,840
	国見町	16,300	-	7,073	18,437
	川俣町	71,600	-	42,787	65,103
	大玉村	13,700	-	10,668	19,933
	鏡石町	0	300	323	7,980
	天栄村	16,100	-	8,562	18,271
	西郷村	54,900	-	46,379	67,468
	泉崎村	15,200	-	11,156	21,587
	中島村	6,400	-	5,845	14,150
	矢吹町	13,900	-	7,295	16,901
三春町	24,400	-	11,363	28,981	
合計		1,728,000	59,000	1,092,389	1,877,764※

※ フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1 m³と換算しています。

- ※ 中間貯蔵施設への搬出済量（国直轄除染市町村：2018年8月末、市町村除染市町村：2018年6月末時点、両者混在市町村（南相馬市、川内村、田村市、川俣町）：2018年8月末）及び輸送待機量（焼却前の可燃物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018年8月末時点、市町村除染：2018年6月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018年8月末時点、市町村除染：2018年6月末時点））の合計量。
- ※ 10万Bq/kg超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。
- ※ 累積搬出済量の合計値には、2018年6月末時点で搬出が完了している市町村の搬出量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬出済量の合計とは数字が一致しません。
- ※ 今回から、輸送の進捗状況で示す数量を搬出済量（仮置場等で保管されている数量）に変更しています。

- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添2のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

- ① 自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

(1) 最近の動き

- 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。
- 放射線を可視化するガンマカメラを活用した、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。
- 飯舘村において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施しました（12/11～13）。
- 富岡町において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施します（12/18～22）。
- 福島県の環境再生に関するトピックを発信する「環境再生レポート」を更新しました（12/7、13）。

・ vol.8 「地域社会と連携して、放射線を理解し情報発信～広野中学校の取組～」
http://josen.env.go.jp/plaza/restoration/report_181207.html

・ vol.9 「新たな作物で農地を有効に活用し、地域を再生」
http://josen.env.go.jp/plaza/restoration/report_181213.html

※環境再生プラザでは、今後も福島の実環境再生に関する様々なトピックを「環境再生レポート」として発信していきます。

- 震災後の福島で暮らす皆さんの不安や悩みになすびさんがお答えする「なすびのギモン パート6」(第1回・第2回)が放送されました。

※放送された動画は、環境再生プラザのホームページでご覧いただけます。

<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/movie/>

(今後の放送予定)

第3回：平成31年3月5日(火)

第4回：平成31年3月12日(火)

(2) これまでの実施状況

(12月14日時点)

項目	実施回数		
	H29年度	今年度	
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	77回	31回
	(イ) 専門家派遣	47回	13回
② 住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	72回	33回
	(イ) 車座意見交換会	62回	50回
	(ウ) 個人線量測定の実施支援(WBC)	83日	70日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点(長崎大、弘前大)による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184台・日	141台・日
③ 環境再生等に関する情報発信(環境再生プラザ)	(ア) 専門家派遣	142件	122件
	(イ) 移動展示	42件 [55日]	38件 [54日]

IV. その他のイベント等関連

- 最近の動き

12月9日(日)に東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催された「ふくしま大交流フェスタ2018 -ALL FUKUSHIMA FESTA-」に出展しました。

環境省のブースでは、福島の実環境再生の様子を映像やパネルを使って紹介するとともに、学生ボランティアが参加する地域活性化事業で作った「ならば米(新米こしひかり)」をプレゼントする企画を行いました。

詳細は別添6のとおり

除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	<p>○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/2/13~)</p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○平成 30 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H30/8/8~)</p> <p>※H30. 9 月に着工</p>
浪江町	<p>○平成 30 年度浪江町仮置場復旧等工事 (H30/5/15~)</p> <p>※H30. 7 月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/6/20~)</u></p> <p>※H30. 8 月に着工</p> <p>○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/1/25~)</p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11~)</p> <p>※H30. 6 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中</p>
双葉町	<p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/4~)</u></p> <p>※H29. 12 月に着工</p> <p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/1/10~)</u></p> <p>※H30. 2 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請を受付中</p>
大熊町	<p>○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 大熊町仮置場復旧等工事 (H30/7/19~)</p> <p>※H30. 8 月に着工</p> <p><u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/1/25~)</u></p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請を受付中</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

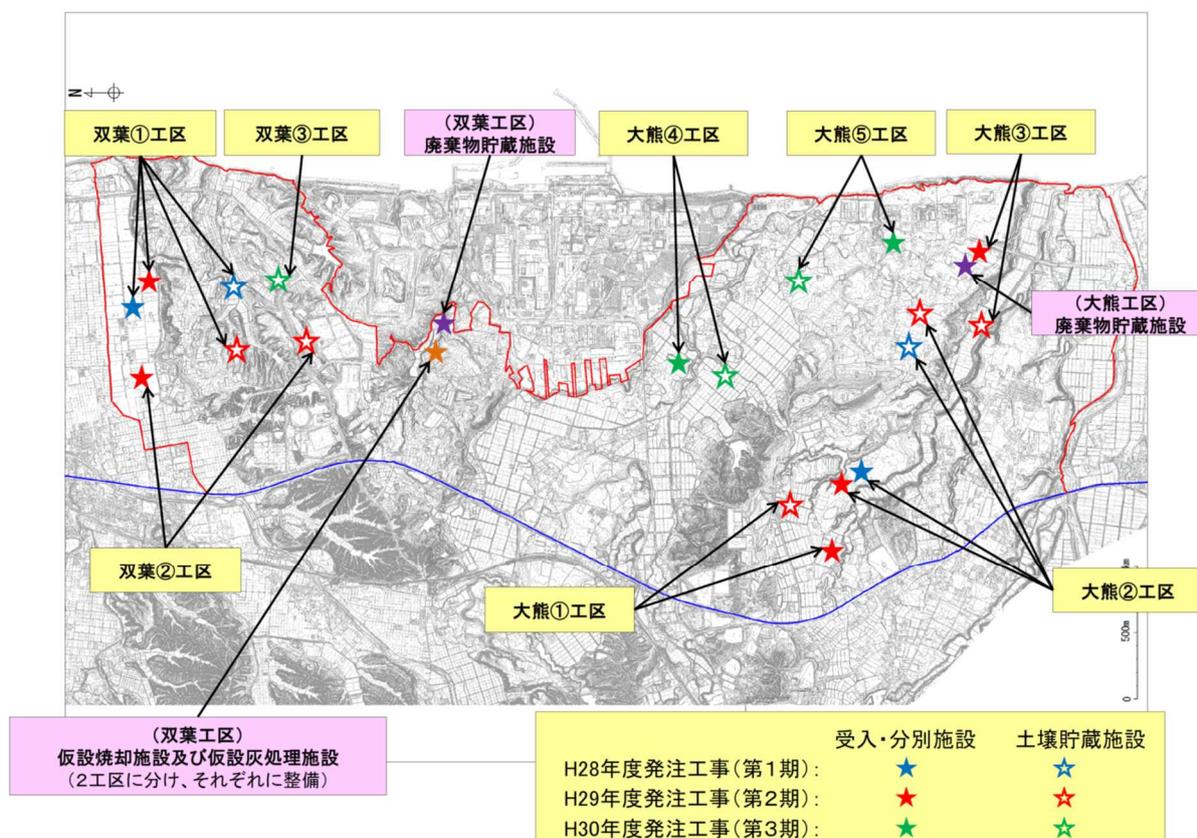
市町村	工事名
富岡町	<p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/5/22~)</p> <p>※H29.6月に着工</p> <p>○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び <u>除染等工事(その1)(H30/8/7~)</u></p> <p>※H30.8月に着工</p> <p>○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その2)(H29/12/27~)</p> <p>※H30.3月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>
檜葉町	<p>○平成 29 年度檜葉町仮置場復旧等工事(H29/4/19~)</p> <p>※H29.5月に着工</p> <p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)檜葉町仮置場復旧等工事(H30/7/5~)</p> <p>※H30.8月に着工</p> <p>○平成 30 年度檜葉町建物解体等撤去工事(H30/7/9~)</p> <p>※H30.7月に着工</p>
飯舘村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10~)</p> <p>※H30.4月に着工</p> <p>○平成 30 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び <u>除染等工事(H30/9/5~)</u></p> <p>※H30.9月に着工</p> <p>○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/4/13~)</p> <p>※H30.6月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付終了</p>
川俣町	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)川俣町仮置場復旧等工事(H30/6/29~)</p> <p>※H30.6月に着工</p> <p>○平成 30 年度川俣町建物解体等撤去工事(公共特殊建物)(H30/7/26~)</p> <p>※H30.10月に着工</p>
葛尾村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)葛尾村仮置場復旧等工事(その2) (H30/6/20~)</p> <p>※H30.7月に着工</p> <p>○平成 30 年度葛尾村汚染廃棄物対策地域における被災建物等解体撤去 等及び除染等工事(H30/10/9~)</p> <p>※H30.11月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵 施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町）（H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）（H28/6/14～） ※H28. 11 月に着工、H29. 10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 10 月に着工、H30. 9 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H30. 1 月に着工、今年度冬以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 11 月に着工、H30. 7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29. 9 月に着工、H30. 7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H29. 11 月に着工、H30. 10 月貯蔵開始
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/6～） ※H30. 9 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/5～） ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/10～） ※H30. 10 月に着工
廃棄物 関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設等工事（H30/3/9～） ※H30. 6 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設等工事（H30/3/8～） ※H30. 7 月に着工、H31 年度内に稼働予定

	工事名
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（H30/7/19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H30/8/24～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内家屋等解体工事（大熊町・双葉町） （H30/10/25～）

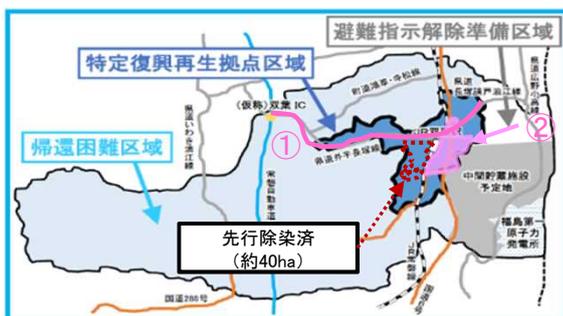


特定復興再生拠点区域整備の状況 (2018年12月14日時点)

別添3

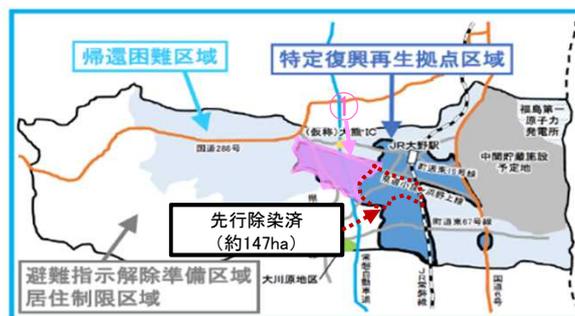
- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、全ての町村において解体・除染等工事を実施中。

双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



- 【工事状況】:2017.12.25着工
- ①復興シンボル軸解体・除染等工事
(解体55件、除染約7ha):実施中
 - ②駅東等解体・除染等工事
(解体640件、除染約90ha):実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



- 【工事状況】:2018.3.9着工
- ①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染等工事
(解体460件、除染約160ha):実施中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



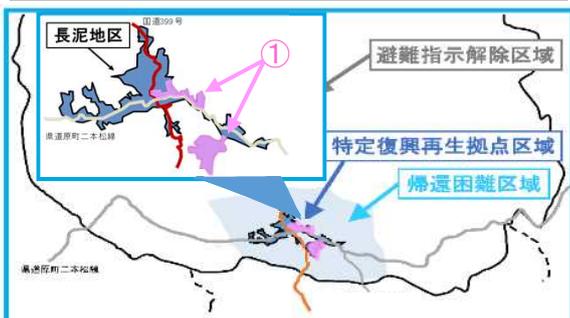
- 【工事状況】:2018.5.30着工
- ①一部道路の除染等工事(除染約4ha):完了
 - ②3地区における解体・除染等工事
(解体60件、除染約30ha):実施中

富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



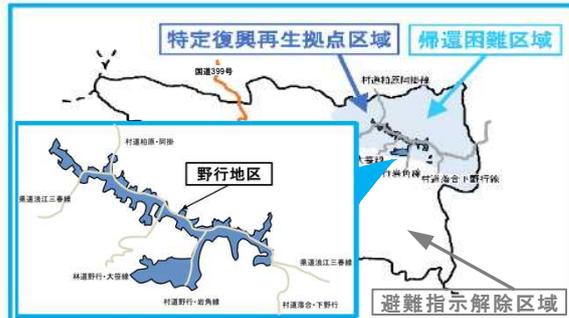
- 【工事状況】:2018.7.6着工
- ①夜ノ森駅周辺の除染等工事(除染約0.3ha):完了
 - ②拠点北エリアの解体・除染等工事
(解体300件、除染約80ha):実施中

飯舘村(2018.4.20認定、約190ha)



- 【工事状況】:2018.9.28着工
- ①長泥地区の居住促進ゾーンを中心とした解体・除染等工事
(解体20件、除染約30ha):実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



- 【工事状況】:2018.11.20着工
- ①野行地区の解体・除染等工事
(解体10件、除染約0.5ha):実施中

双葉町体育館（双葉町）の解体着手について

2018年12月6日、環境省では双葉町復興再生拠点区域内に位置する双葉町体育館の本体解体工事に着手しました。

これは、双葉町から建物解体申請を受けて実施しているもので、本年3月から内部の片づけやアスベスト対策などを進め、今般、準備が整ったことから本体の解体工事に至りました。なお、建物部分の解体は2019年3月頃に完了する予定です。

双葉町の復興に向け、環境省では双葉町復興再生拠点区域の建物解体及び除染工事に引き続き取り組んでまいります。



特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成30年12月14日

【最新の進捗状況】

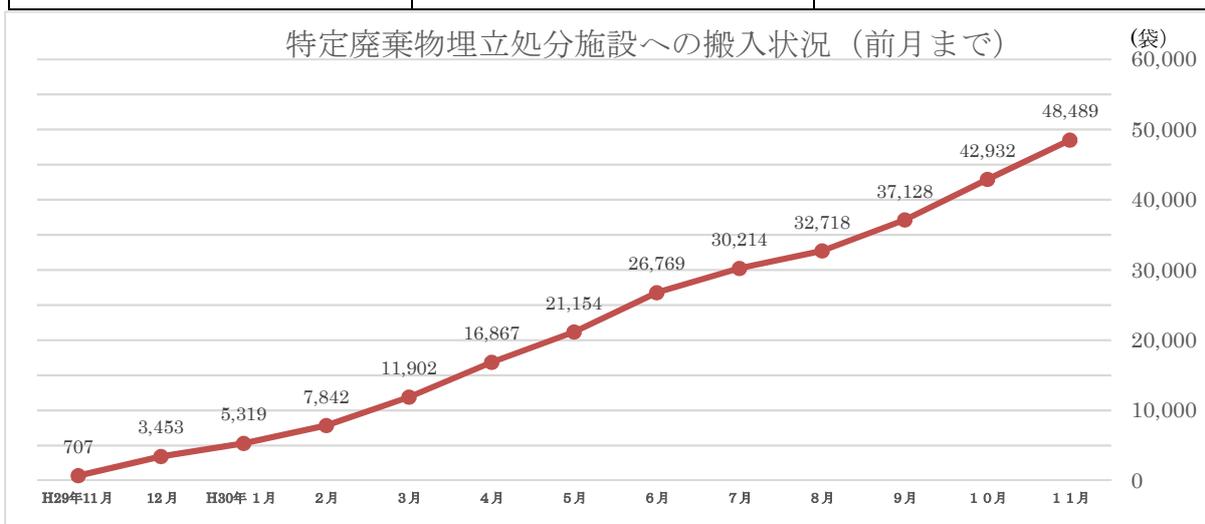
搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
12/5～12/11	1,357	50,335

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成29年11月～12月	3,453	3,453
平成30年1月	1,866	5,319
平成30年2月	2,523	7,842
平成30年3月	4,060	11,902
平成30年4月	4,965	16,867
平成30年5月	4,287	21,154
平成30年6月	5,615	26,769
平成30年7月	3,445	30,214
平成30年8月	2,504	32,718
平成30年9月	4,410	37,128
平成30年10月	5,804	42,932
平成30年11月	5,557	48,489
平成30年12月(11日まで)	1,846	50,335



搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

- ・ 環境省（福島地方環境事務所）は、12月9日（日）に東京国際フォーラム（東京都千代田区）で開催された「ふくしま大交流フェスタ2018 -ALL FUKUSHIMA FESTA-」にブースを出展しました。
- ・ 本イベントは、復興する福島の元気な姿を首都圏に向けて発信することを目的に、ふくしまの魅力を見て、触れて、味わって、体感できるイベントとして開催され、約12,000人の来場がありました。
- ・ 環境省のブースでは、福島の復興や環境回復の様子を映像やパネルを使って紹介するとともに、学生ボランティアが参加する地域活性化事業で作った「ならは米（新米こしひかり）」をプレゼントする企画を行いました。
- ・ 環境省ブースにも多く来場があり、地元の様子を知っていただく機会となりました。

当日の様子

